

# 危 機 管 理

## 浸水被害対策

### 出水常襲地域での抜本的解決策は 排水機場整備や市民自助の支援を図る

排水機場の新設や増強工事の計画等が進んでいる。併せて、市民自ら備える取り組みへの支援を充実させる等、ハード、ソフト両面の総合的対策により、水害のないまちを目指していく。

台風等の大雨による市内の道路冠水被害やこれに伴う道路渋滞は、高谷、田尻、原木等、毎回同じ地域で発生している。こうした出水常襲地域では、今後に備え被害を未然に防ぐための抜本的解決策が求められる。市が考える対策を問う。

松永修巳議員(緑風会)

答 浸水多発地区においては、排水機場や幹線管渠の整備が抜本的対策となり、高谷・田尻地区及び原木3・4丁目周辺については、排水機場の新設や増強工事の計画等が進んでいる。併せて、市民自ら備える取り組みへの支援を充実させる等、ハード、ソフト両面の総合的対策により、水害のないまちを目指していく。

### 受け入れ体制の整備と啓発は マニュアル等を作成 チラシ等の配布

## 災害時のペット同行避難

本市では、災害時におけるペット同行避難を認めている。そこで、避難生活における混乱を最小限にするために、どのようなマニュアルを整備しているのか。また、同行避難のためには行政だけでなく、飼い主の意識を高めることが重要であるが、市民に対してどのような啓発を行っているのか。

並木まき議員(みらい)

答 市は「小学校区防災拠点要員行動マニュアル」等を作成し、ペット同行避難の受け入れ体制の整備を図っている。また、啓発チラシの配布等や、総合防災訓練でペット同行避難訓練を実施し、避難の際の注意点や平時の対策等、市民への普及啓発を図っていく。

## 平成27年から2月定例会に「代表質問制」を導入

市議会では、より市民に開かれた議会とし、さらなる論議の活性化を図るため、平成27年から2月定例会に「代表質問制」を導入します。

2月定例会では、市長の施政方針、教育長の教育行政運営方針が述べられ、新年度に向けた当初予算案等が審議されます。

これまでの代表質疑制では、市長提出議案のうち当初予算案及びこれに関連する条例案を一括議題とし、施政方針、教育行政運営方針を含め、各会派の代表が総括して質疑を行っていました。

新たに導入する代表質問制では、当初予算案を含む市長提出議案を全て一括議題とし、これに施政方針、教育行政運営方針を含めて各会派の代表が質問します。各会派は政策的な質問を中心に行い、議案質疑は大綱にとどめ、詳細は付託委員会に委ねることとします。

代表質問の発言時間・発言者等については次のとおりです。

|      | 交渉会派<br>(3人以上の会派)  | 非交渉会派<br>(2人以下の会派) |
|------|--|--------------------|
| 発言時間 | 会派均等割時間(60分)<br>+ (会派所属人数) × 15分<br>(例) 5人会派の場合<br>60分 + 5人 × 15分 = 135分 | 会派所属人数 × 20分       |
| 発言者  | 原則として代表(総括) 質問者1人<br>その他に補足質問者(人数は概ね所属議員3人につき1人の割合で、最大2人)                | 代表質問者1人            |
| 発言順  | 大会派(所属人数の多い会派)順<br>ただし所属議員同数の会派はくじで決定する                                  |                    |

2月定例会の代表質問は、議会での傍聴、インターネットでのライブ中継・録画配信(原則として会議の翌々日以降)の他、ケーブルテレビ(J:COM市川)で放送します。(質問日当日の午後7時からの予定)

## 特別委員会の視察

### 東京外郭環状道路特別委員会

【日程】

平成26年11月10日～11日

【視察地及び視察項目】

- ・福岡国道事務所
- (1) ボランティア・サポート・プログラム
- (2) 国と市が覚書により管理するエレベーターと歩道橋
- ・道の駅「香春(かわら)」 防災機能強化
- ・道の駅「なかつ」 歴史、文化(遺跡)の展示等



道の駅「なかつ」

【主な視察内容】

福岡国道事務所では、ボランティア団体と協定を結んで植栽剪定等を行う取り組みや、国が設置した施設を市が管理する状況等について、道の駅では、宅配サービスや出土品の展示等の事例を視察した。

### 行徳臨海部特別委員会

【日程】

平成26年10月27日～28日

【視察地及び視察項目】

- ・新潟市 万代島にぎわい空間創造事業
- 新潟市水族館リニューアル事業
- ・村上市 岩船港の活性化の推進
- 岩船港直売所事業



村上市

【主な視察内容】

新潟市では、旧魚市場・旧水揚場の跡地の活用や観光資源としてにぎわいを創出する2事業を、村上市では、ふ頭用地の活用によるにぎわい空間の提供を目的とする事業につき、経過や状況等を視察した。

## 東京外郭環状道路特別委員会

### 住民対応や安全対策など各議員が質疑

東京外郭環状道路特別委員会を平成26年10月22日に開催し、国等の事業者を招き、外環道路に関する審査を行いました。外環本線部に関する用地取得率が100%となったこと等の説明を受けた後、各委員から、外環道路から第一交差点までの路から第一交差点までの用地取得の進捗状況や、工

開通に影響がないよう用地取得に取り組みむこと、また、騒音や振動等への対応状況は、低騒音、低振動型の建設機材の使用や散水による防じん対策等を、さらに、歩行者への安全対策では、工事用道路と市道の交差点所及び国道等の工事用車両の出入口全てに交通整理員を配置し、歩行者の交通安全に努めている等の答弁がなされました。

## 12月臨時会

政務活動費に関する2つの特別委員会を設置  
議長に宮田かつみ氏、副議長にかつまた竜大氏  
個別外部監査の実施を承認

## 1月臨時会

市議会は、平成26年12月臨時会を12月24日に開催しました。12月臨時会では、政務活動費等により切手を大量に購入した会派の調査に関する決議、政務活動費(調査費)の不正支出の調査に関する決議についての議員発議2件が審議されたほか、市長から1件の報告がなされました。

## 2月臨時会

市議会は、平成27年1月臨時会を1月14日に開催しました。本会議での採決の結果、議員発議2件を可決し、地方自治法100条1項による調査を委任された委員28人で構成する「政務活動費等により切手を大量に購入した会派の調査に関する特別委員会」及び、委員24人で構成する「政務活動費(調

査費)の不正支出に関する調査特別委員会」を設置しました。また、1月臨時会では、市長から、報告1件が提出されました。これは、市議会の各会派に対して支出された政務活動費(政務調査費)が適正に使用されているかについて、監査委員の監査に代えて、個別外部監査契約に基づき監査によることの専決処分承認を求め、議会はこれを承認しました。

その後、松永鉄兵副議長から辞職願が提出され、